

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 6 月 23 日 (2016.6.23)

【公表番号】特表 2016-513638 (P2016-513638A)

【公表日】平成 28 年 5 月 16 日 (2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2016-029

【出願番号】特願 2016-500078 (P2016-500078)

【国際特許分類】

C 0 7 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 9/00 Z N A

A 6 1 P 25/28

A 6 1 K 39/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 4 月 22 日 (2016.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 6 2 及び 6 3 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せを有する組成物。

【請求項 2】

配列番号 6 4 及び 6 5 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せを有する組成物。

【請求項 3】

C p G オリゴデオキシヌクレオチド (ODN) をさらに有する請求項 1 又は 2 記載の組成物。

【請求項 4】

アジュバントをさらに有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 5】

a) i) 配列番号 6 2 及び 6 3 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せ、又は i i) 配列番号 6 4 及び 6 5 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せ；

b) C p G オリゴデオキシヌクレオチド (ODN)；及び

c) 医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び / 又はアジュバント；  
を有する医薬組成物。

【請求項 6】

a) i) 配列番号 6 2 及び 6 3 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せ、又は i i) 配列番号 6 4 及び 6 5 のアミノ酸配列からなる A ペプチド免疫原構築物の組合せ；

b) C p G オリゴデオキシヌクレオチド (ODN)；及び

c) 医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び / 又はアジュバント；  
から本質的になる医薬組成物。

## 【請求項 7】

前記 A ペプチド免疫原構築物の組合せが等モル比で存在し、前記 A ペプチド免疫原構築物及び前記 C p G オリゴデオキシヌクレオチド ( O D N ) が安定化免疫刺激複合体の形態である請求項 5 又は 6 記載の医薬組成物。

## 【請求項 8】

前記 A ペプチド免疫原構築物の組合せが等モル比で存在し、前記 A ペプチド免疫原構築物及び前記 C p G オリゴデオキシヌクレオチド ( O D N ) が安定化免疫刺激複合体の形態であり、前記医薬上許容可能なデリバリビヒクル及び / 又はアジュバントがリン酸アルミニウム ( A l P O <sub>4</sub> ) である請求項 5 又は 6 記載の医薬組成物。